

大麦(ファイバース)

ノウ)の栽培ごよみ

積算温度
700°C
約40日

◆止葉展開期
4月8日頃

◆出穂期
4月18日頃

◆成熟期
5月30日頃

時期	9月～10月	11月～12月	1月～2月
生育期	播種準備～播種期	分けつ期	積雪時期

	3月～4月	4月～6月
	融雪直後～草丈伸長期	出穂期～収穫期

主な作業内容

①播種前の排水対策
②土づくり
③種子の準備
④播種作業(播種深度3cm程度)
⑤播種後の排水対策
⑥1回目追肥(播種後1ヶ月頃)
⑦排水溝の手直し(積雪前)

越冬前茎数目標 600～800本/m²

耕起溝種
基肥施用
好天時に1日で完了する

排水溝の手直し(積雪前)

×排水不良 ○排水良好

※止葉展開期追肥の目安(分施肥体系)

葉色	葉色板	施用量(kg/10a)
5未満		硫安7kg
5以上		硫安5kg (500本未満) 追肥しない (500本以上)

※硝子粒の発生を抑えるため茎数と葉色に応じて施用する。(遅くても出穂10日前までに)

基本防除の徹底
⑦赤かび病防除(1回目) → (1回目から7日後)
⑦赤かび病防除(2回目)
⑦赤かび病防除(1回目)

⑧刈取りの目安
子実水分30%
ツメで押さえてもつぶれない
ツメで押さえると二つに割れる
35%～40%

されたコンバインにて刈取りを行う。
大麦、米相互の混入を防ぐため、登録
子実水分30%以下で刈取り開始。
⑧刈穫(適期刈取)

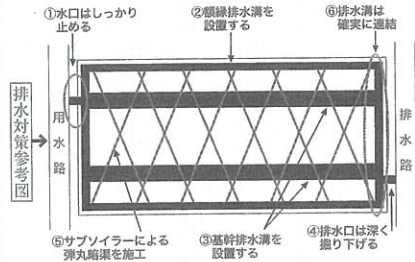
カラスノエンドウ
収穫前に必ず抜き取る

良質大麦生産のポイント

- 早生跡を基本としたほ場選定
- 生育に応じた追肥
- 播種前の徹底した排水対策
- 赤かび病適期防除
- 土づくりの実践
- 適期・適量の播種
- 適期・適量の播種
- 適期収穫

①播種前の排水対策

- ・ 稲刈り後に早急に額縁排水溝と基幹排水溝(約3m間隔で溝幅30cm、深さ20cm)の設置。
- ・ 額縁排水溝と排水口との確実な連結。
- ・ 心土破碎による透水性の確保。



②土づくり

- ・ pH6.0以上を目標に、苦土石灰を耕起前に散布する。
- ・ 堆きゅう肥又は醗酵けいふんを散布する。

資材名	10a当り施用量	散布時期
苦土石灰	100kg以上	耕起前
堆きゅう肥	2m ³	
醗酵けいふん	100～150kg	

③種子の準備

・ 播種時期と種子量 (kg/10a)

播種方法	播種時期		
	9月	10月上旬	10月中旬
条まき(ドリル播き)	6.0	6.5	8.5
全面播き	6.5	7.0	9.0

・ 種子消毒(湯消毒の場合は必要なし)

薬剤粉衣	ベンレートT水和剤20を乾燥種子重量の0.5%粉衣
種子10kgに50gの薬剤を入れ、水200ml加用して混和する。	

④播種作業

- ・ 耕起は、乾いた状態で行い、砕土率を高める。
- ・ 播種作業は、準備を早くし適期の9月下旬～10月上旬に終える。
- ・ 播種量は、時期に応じて適正量入るように努める。
- ・ 播種深度は3cm程度とする。

⑤播種後の排水対策

- ・ 播種前に基幹排水溝を設置できていない場合は播種後に設置し、額縁排水溝と連結する。
- ・ 排水側の枕地に排水溝を増設し、排水促進を図る。

倒伏防止のポイント

- 適正な播種時期、播種量、及び施肥量の厳守

⑥施肥基準

施肥区分	肥料名	10a当り施用量	施肥時期	備考		
肥効調節	Jコート大麦48号	45kg	播種時	倒伏しやすい地域は減肥する		
分施肥体系	基肥	側条 30kg	播種時	葉色4.5程度で、越冬前の生育量を確保する。 茎数1,200本/m ² 以上は、施用を控える。		
		全層 35kg				
	追肥	硫安	1回 20kg		播種後1ヶ月頃	
			2回 20kg		融雪直後	
		硫安	3回 0～7kg		止葉展開期	止葉展開期追肥の目安を参照

⑦防除基準

[基本防除]

対象病害虫	使用機械名	薬剤名	希釈倍数	10a当り原液量	10a当り散布量	収穫前日数	総使用回数
赤かび病	動力散布機	1回目 ワークアップ粉剤DL	2,000倍	75ml	3kg	収穫7日前まで	3回以内
		2回目 トップジンM粉剤DL					
	動力噴霧機	1回目 ワークアップフロアブル	1,500倍	100ml	150ℓ	収穫7日前まで	3回以内
		2回目 トップジンMゾル					
	無人航空機	1回目 ワークアップフロアブル	8倍	100ml	0.8ℓ	収穫7日前まで	3回以内
		2回目 トップジンMゾル					

[随時防除]

対象病害虫	使用機械名	薬剤名	希釈倍数	10a当り原液量	10a当り散布量	収穫前日数	総使用回数
うどんこ病	動力噴霧機	トリフミン水和剤	1,000～2,000倍	75～150g	150ℓ	収穫14日前まで	3回以内

○雑草防除

区分	除草剤名	対象雑草	10a当り散布量	使用時期	総使用回数
播種後(土壌処理)	リベレーター-G	畑地1年生雑草	4～5kg	播種後～麦2葉期(雑草発生前～イネ科雑草1葉期まで)	1回
	リベレーターフロアブル	スズメノテッポウ	60～80mℓ/水100ℓ	播種後～麦3葉期(雑草発生前～イネ科雑草1葉期まで)	1回

※全面播きの場合は除草剤の使用を控える